

まち歩きハイキング (新日本歩く道紀行 1000 の道 認定コース)


# 日本のへそ・織都西脇の繁栄と文化に触れる道

西脇バスターミナル～日本へそ公園駅 / 所要 90 分・全長約 6km・標高差：約 25m

西脇市観光協会 TEL 0795-22-3111 <http://www.nishiwaki-kanko.jp/>


日本列島の中心、東経135度と北緯35度の交差点「日本のへそ」がある西脇市は、先染綿織物「播州織」の産地として発展してきたまち。織物産業の興隆とともに形成されてきた市街地のまちなみと播州織が育ててきた歴史と文化を感じるスポットをめぐりながら、「日本のへそ」に到達するコースです。

**1 西脇区消防庫**



昭和初期に西脇町消防屯所として竣工した鉄筋コンクリート造りのモダン外観の建物。今も現役の消防団詰所として使われており、織物産業で繁栄した西脇市街地のシンボルとして雄姿を誇っています。

**2 旧来住家住宅**




銀行家・来住梅吉氏が大正時代に建造した高級民家で、国登録有形文化財として無料公開されています。随所に今では手に入れることが困難な高級用材を使っています。

**3 機殿神社**




西脇の発展の礎となった地場産業・播州織の繁栄を願い、織物に感謝する心のよりどころとして建立されました。毎年8月には織物感謝祭が開催されます。

**4 播州織工房館**




特徴あるのこぎり屋根を持つかつての播州織工場を活用した建物で、最先端の播州織製品を展示販売しています。

**5 Y字路の原点**




西脇市は世界的美術家・横尾忠則氏の出身地。2000年に発表された横尾氏のライフワークとなる作品「Y字路」に最初に描かれた場所、横尾氏の通学路でした。

**7 西林寺**




3千株・数万本が咲き誇る初夏のあじさい、秋の紅葉、早春の唐子ツバキなど四季折々の花の寺として知られています。

**6 西脇小学校**




昭和初期に建てられたレトロな外観を持つ3棟の木造校舎は、映画「火垂るの墓」の撮影にも使われました。

**8 飛田安兵衛翁紀徳碑**




播州織の始祖・飛田安兵衛(ひだやすべえ)の没後100年を記念して大正時代に織物産業関係者により建立されました。

**9 日本へそ公園**



東経135度と北緯35度が交差する地点、日本列島の中心「日本のへそ」にある公園。経緯度交差点のモニュメントや大型遊具、経緯度地球科学館・テラドームなどユニークな施設があります。

**10 西脇市岡之山美術館**



日本へそ公園駅前にある西脇市出身の美術家・横尾忠則氏ゆかりの美術館。現代美術の企画展示をしており、駅に停車する列車風の建物は、建築家・磯崎新氏の設計です。

